

里山資源をどう活かすか～建築・家具・エネルギーの地域循環を考える～ in 弓削牧場

主催：こうべ森と木のプラットフォーム事務局

期日：2024年10月23日（水）9:00~16:00

場所：弓削牧場（兵庫県神戸市北区山田町下谷上西丸山5-2）

株式会社三栄（兵庫県神戸市兵庫区材木町1-2）

研修参加費：2000円（昼食代として）

（連絡先：ひょうご森林林業協同組合連合会078-599-7461）

（背景）

神戸市北区にある弓削牧場内には、近隣の住宅街とも隣接する中で自然豊かな里山があります。そんな中、樹木が大径木化してきたり常緑樹が茂って暗い森になりつつあることから、牧場内の樹木を適切に伐採し、里山（山林）の手入れをしていく必要があります。今回、その伐採・手入れから発生した樹木を有効に活用するための方法を、多様な分野の方々と考えていきたいとの思いで研修会を開催します。里山広葉樹林における木材利用及び資源循環の仕組みを考えることは、神戸市内全地域の放置天然林の課題解決の一助となり得る重要な取り組みであり皆様のご参加を期待します。

（樹木調査方法）

今回の調査方法の一つとしてMORI TAGシステムというツールを利用しています。プロット（エリア）を決め選定・調査した立木に「電子タグ付け」することで、伐採前に用材として利用可能な樹木を可視化し、必要な顧客に、必要な時期、適正な価格で資源を無駄なく届けることが可能になります。

（研修の目的）

事前の植生調査及びタグ付け調査から読み取れる情報を元に、里山資源の有効活用について関心のある多様な分野の方に集まっていただき、活用方法を検討し最終的には立木販売までの可能性を見出します。

（研修の内容）

実際の弓削牧場内の伐採予定地を見学いただき、事前に試験伐採された樹木（アベマキ）の丸太を見学しながら意見交換します。弓削牧場内の伐採予定地の材積の6割がコナラ・アベマキの落葉広葉樹であり、これらの樹木の家具用材・木工系の需要可能性を掘り起こします。中でも、アベマキは乾燥・加工等に課題があるため、先進事例の取り組みとして、合同会社ツバキラボの和田様にアベマキプロジェクトの事例発表をしていただき参考にさせていただきます。午後からは、伐採した丸太を神戸市兵庫区の株式会社三栄にて試験製材を行い見学致します。この後、皆さんで振り返りを行い、今後の活用方法について議論します。

*スケジュール概要（参加者へは別途詳細スケジュールを連絡します）

（午前） 場所：弓削牧場

- ・神戸の里山の現状と管理・活用の方向性 神戸市森林官 栃本
- ・弓削牧場内のタグ付け調査について 神戸大学 門
- ・弓削牧場の取り組み 弓削忠生氏（*1）
- ・アベマキの活用事例について 合同会社ツバキラボ 和田 賢治氏（*2）

（午後） 場所：株式会社三栄（製材所）

- ・アベマキの試験製材見学
- ・立木販売の可能性について振り返り

（*1）弓削牧場について

六甲山系北麓の住宅地近にある牧場で、「都市型酪農」として酪農やレストランなどを営む。場内で放牧された牛から搾乳し、高品質の牛乳や独自開発のチーズ「フロマージュ・フレ」などを提供している。

（*2）合同会社ツバキラボについて

岐阜県岐阜市でシェア工房を運営しながら、木製品・家具の企画・製造、地域材活用コンサルティングなども行う。美濃加茂市において、地域に群生しているが使い勝手の悪かったアベマキを、地元小学校の学校机の天板に活用するプロジェクトを担う。

*当日の弓削牧場への交通手段について

- ・阪急バス：谷上駅8:21→広陵中学校前8:30下車 徒歩約12分
- ・みなと観光バス211系統：三宮山手8:04→筑紫が丘東8:29下車 徒歩約19分
- ・谷上駅からタクシーで約10分（朝は客待ちがない場合があるため呼び出し必要）